相愛大学 SOAI UNIVERSITY

相愛大学　人間発達学部
同窓会報

発行所
相愛大学人間発達学部同窓会
〒541-0053
大阪市中央区本町4丁目1-23(本町学舎内)
同窓会室直通TEL&FAX(06) 6261-2040
学園代表TEL　(06) 6262-0621
E-mail：doso@soai.ac.jp

社会に貢献する学生の育成のために
歩み続ける人間発達学部

人間発達学部　学部長
川中美津子

人間発達学部は開設からはや16年目を迎えます。開設当初より、両学科ともに地域連携・社会貢献活動に力を入れてきました。社会の幅広いニーズに対応できる能力を備えた保育士・保育教諭・幼稚園教諭・小学校教諭(子ども発達学科)、管理栄養士(発達栄養学科)の育成をめざし、実践力を高める教育方法の開発と展開に注力しています。しかし、2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、実践的な活動が制限され、感染対策を取りながらの地域連携・社会貢献活動の実施を余儀なくされました。

2020年3月2日の構内立入制限発令に始まり、卒業式だけは両学科とも3密回避の上、短時間でかろうじて集まることができましたが、入学式をはじめ新年度当初の行事はすべて中止となりました。その後、1回目の緊急事態宣言が発令され、構内立入禁止が5月31日まで延長となり、すべての授業がオンラインとなりました。コロナの収束状況を受け、7月より段階的に対面授業の拡大を実施していきましたが、2021年1月に2回目の緊急事態宣言発令となりました。現在はハイブリッド型(対面授業とオンライン授業を組み合わせた方式)が授業の新常態となっています。

感染防止の取り組みを行いながらの授業、キャンパスライフの中で、両学科ともに地域連携・社会貢献活動を含む教育活動全般において実施方法を工夫し、実践力を高める教育の質を確保しております。各学科の取り組みについて紹介します。

子ども発達学科は、「卒業までに地域の人とつながり合い・学び合う100回以上の機会」を軸とした段階を追った教育システムによる徹底した実践と、科目間連携による教科横断的な教育方法が、学科教育の根幹です。

2020年度に「認定絵本士養成講座」を開設し、「認定絵本士」の資格取得を可能としました。「あいあい相愛おはなしのへや」(子ども発達学科と住之江区役所の協働プロジェクト)と連動させ、建学の精神により培われてきた人と人とがつながり合う教育文化を基盤に、地域・社会と連動した実践的な教育プログラムとして展開しています。認定絵本士養成講座開設にともない設置した「えほんのへや」は、学生の主体的・能動的な活動の場となっており、「学びの森」や「夢ゼミ」等自主学習の場としての機能しております。自然学習環境「相愛ビオトープとつどいの里山」を活用した感性教育、実習指導、食育等の教育・研究活動も継続、充実をめざします。このような教育方法の展開から、就職率は毎年ほぼ100%を継続しています。保育者・教員としての採用に向けた支援についても継続して実施していきます。今後も、各種取り組みの成果と課題を評価し、新しい生活様式での教育展開に取り組んでいきます。

発達栄養学科では、地域連携・社会貢献事業の一環として「食育推進プロジェクト」や「ダイエット教室」の開催、産官学連携事業として「商品開発プロジェクト」など、学生が主体となった様々な事業を行っています。これらの実践教育を通じて、自主的に考え行動できる人材の育成、キャリア形成の促進や社会人基礎力の向上をめざしています。その結果、就職においては、平成26年度から現在まで、就職率100%を継続しています。

また管理栄養士国家試験では、平成29年から3年連続90%以上の合格率を維持し、直近の令和2年の第34回管理栄養士国家試験(令和2年3月実施)の合格率は86・7%という結果でした。受験希望者の増加とさらなる合格率の向上に向けた支援体制の強化を図り、受験率および合格率の継続的な維持・向上を図っていきます。

平成29年度からカリキュラムを改訂し、1回生を対象に、学科の特徴的な科目として新たに「商品開発入門」を開講しました。実際に修得した知識や技能を地域連携事業に繋げるなど、学科教育の質的向上にも直結しています。今後も、幅広いフィールドで活躍できる管理栄養士の育成をめざし、充実した講義・実習および多種多様な実践教育を展開していきます。

同窓会の皆様にはおかれましては、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げご挨拶とさせていただきます。

コロナ禍でも学生たちは元気に頑張っています

同窓会会長
桒原和加子
(1976年食物卒・旧姓　松村)

相愛女子専門学校・相愛女子短期大学・相愛大学人間発達学部卒業の会員の皆様、コロナ禍の世の中ではありますが、お変わりなくご健勝のことと存じます。

一昨年より世界中で蔓延している新型コロナウイルスの猛威の為に、「緊急事態宣言」が発令され、学内行事や在学生の学ぶ機会が制限されてきました。

このような事態になることを、だれが予測できたでしょうか。しかし、人の知識・知恵を結束して前向きに打ち勝てることを信じ、それぞれが自覚して過ごす他にはありません。

このような状況ではありますが、学生たちは頑張っております。子ども発達学科は、コロナ禍で地域連携活動の実施が危ぶまれましたが、感染対策を徹底し、「よつばのクローバー」、「あいあい相愛おはなしのへや」、プロジェクト型アクティビティ(Part7「牛乳パック変身!」再生紙を作って「見る」)、「相愛子どもわくわくあそび広場(以下、わくわくと示す)」などを実施しました(詳しくはファミリアをご覧ください)。どのイベントも人数や時間を制限しての実施となりましたが、開催を待ちわびてくれていたリピーターの親子などですぐに定員に至ることもありました。学生たちは子どもの喜ぶ顔を思い浮かべ、感染対策にも考慮して、準備に励んでいました。わくわくの参加者からは、「参加できたことを嬉しく思う」や「毎年楽しみにしているイベントなので、ずっと続けて欲しい」などの感想を頂きました。学生からは「子ども一人一人と丁寧に関わることができて良かった」などの感想があり、学生たちは生き生きとした表情で活動していました。

発達栄養学科も計画していた食育イベントが次々に中止となりました。実施できたのはダイエット教室(詳細は4面参照)と大阪ガス食育プロジェクトです。大阪ガス食育プロジェクトは〝地産地消はいいことずくめ〟「パパっとできる!大阪産を使ったおいしく・時短・Let's!和ごはん」と題し、例年7月に実施のところ、状況を判断して10月まで延期し、会場もハグミュージアムとクッキングスクール淀屋橋のそれぞれ1回ずつの開催となりました。参加人数も密を避け、各会場とも例年の半数の16名の募集としました。参加者に体組成計(In Bodyによるバイオ、体脂肪量、基礎代謝量等の測定や骨密度の測定をしたり「食育クイズ」にチャレンジしてもらいました。大阪産の野菜で和食の実習をした後、学生たちは「栄養・食情報」として今回のテーマ「和食」について緊張しながらも、しっかり発表できました。参加者からは「良くまとめてあり、しっかり説明できていた。」とお褒めの言葉を頂きました。商品開発は例年通り実施できました(詳しくはファミリアをご覧ください)。このようにコロナ禍でも学生たちは元気に頑張っております。

同窓会としましては、「アフターコロナ」に向けて、それぞれが今までとは違う生活サイクルについてよく考え、一日でも早く「安全・安心」な生活が送れて、活動できることを祈り、会員の皆様も健やかにお過ごしになることを心より願っております。

住所・氏名等の変更について

住所・氏名等変更された場合は、相愛学園同窓会室まで葉書またはFAXでお知らせ下さい。下記の日程で短大・人間発達学部同窓会の担当者が在室しています。

●曜日　毎週火・木・金曜日
●時間　10：00～15：00

連絡先：相愛学園同窓会室
〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-23
TEL／FAX：06-6261-2040
(FAXは24時間受付)

※学年幹事や京都・東海・関東各支部長にもご連絡下さい。個人情報保護の点からお問い合わせの際は会員特定をする為に、会員番号又は学籍番号、卒業年、学科名等詳しくお尋ねしますのでご了解下さい。